

「IBM i(AS/400)」健康診断チェックリスト

以下の質問に対し、現状に最も近いものを選択してください。(該当するものにチェックを入れてください)

※本チェックリストは一般的な指標に基づく自己診断用です。診断結果の完全性や正確性を保証するものではありませんので、貴社のシステム環境や運用状況に合わせ、現状把握のヒントとしてご活用ください。



カテゴリ A: 人材・技術継承リスク(技術者不足の深刻度)

質問項目	はい	いいえ	一部該当
A-1. RPG技術者の平均年齢は50歳以上で、5年以内に定年退職を迎える予定の技術者がいる。			
A-2. システムの全容を把握している担当者が特定の1~2名に依存(属人化)しており、その方が不在になると運用が止まるリスクがある。			
A-3. 新入社員や若手技術者に対し、「IBM i(AS/400)」(RPG)の継続的な教育プログラムが存在しない。			
A-4. システムの改修や障害対応が発生した際、担当者以外がコードや仕様を把握するのに1週間以上かかる(ブラックボックス化:設計書が更新されておらず、ソースコードが設計書代わりになっている)。			
A-5. 過去5年間で、システムの主要な機能が「担当者がいない」ことを理由に改修を断念したことがある。			
【評価】 Aカテゴリで「はい」または「一部該当」が3つ以上:技術者リスクは危険域です。			

カテゴリ B: システム拡張性・連携性(モダナイゼーションの必要性)

質問項目	はい	いいえ	一部該当
B-1. 基幹システムのデータをリアルタイムで、最新のBIツールやデータウェアハウス(DWH)に連携できていない。			
B-2. 業務部門から「画面が古く使いにくい」「操作性が悪い」という不満が頻繁に出ている。			
B-3. 新しいSaaSやクラウドサービスとのデータ連携に、常に専用のプログラム開発が必要になる。			
B-4. システムのインターフェースが「グリーン画面」のままで、Web環境での利用ができない機能が多い。			
B-5. 「IBM i(AS/400)」の基幹データにアクセスするためのAPIやサービスが存在しない。			
【評価】 Bカテゴリで「はい」または「一部該当」が3つ以上:システム拡張に重大な課題があります。			

カテゴリ C: 経営・リソース状況(全移行 vs. 継続利用の判断)

質問項目	はい	いいえ	一部該当
C-1. 今後5年間で、「IBM i(AS/400)」を刷新するための数億円以上の予算を確保することは難しい。			
C-2. 仮にシステムを全面移行しても、現場の業務フローを大幅に変更することに強い抵抗がある。			
C-3. 全移行する場合、現行システムと同等の機能を持つ代替システムを開発するための要件定義が30%以上未確定である。			
C-4. 外部環境の変化(法改正など)に対し、システムの改修に6カ月以上かかることが常態化している。			
C-5. IBM i(AS/400)アプリケーションが非常に複雑でブラックボックス化しており、リプレイス時の工数見積もりに不安がある。			
【評価】Cカテゴリで「はい」または「一部該当」が多い場合: 段階的モダナイゼーションの検討を強く推奨します。			

診断お疲れ様でした。もし上記のチェックリストで「はい」が多かった場合、貴社は「全移行のリスクは高いが、現状維持も困難」という状況にあります。

純国産ノーコードETL: データ連携ツール「Waha! Transformer」

基幹系システムからクラウドデータベース、Web APIやExcelファイルまで、さまざまな環境のデータ抽出・変換・加工・連携をSQLやプログラミングの知識なしでシームレスにつなぐETL: データ連携ツールです。

Waha!
Transformer

無料体験版・試用版

操作を体験いただく無料体験版は、サイトからお申し込みできます。また、お客様のご要件に沿った試用版がございますので、お問い合わせください。

無料体験版・試用の詳細はこちら:

<https://waha-transformer.com/freetrial.html>

お問い合わせ・詳細情報はこちら <https://waha-transformer.com/>



株式会社ユニリタ

www.unirita.co.jp

本社 〒108-6029 東京都港区港南2-15-1 品川インターシティA棟

名古屋営業所 〒451-0045 名古屋市西区名駅3-9-37 合人社名駅3ビル

- 本文中の社名・商品名は各社の商標・登録商標です。
- 不許複製・無断転載